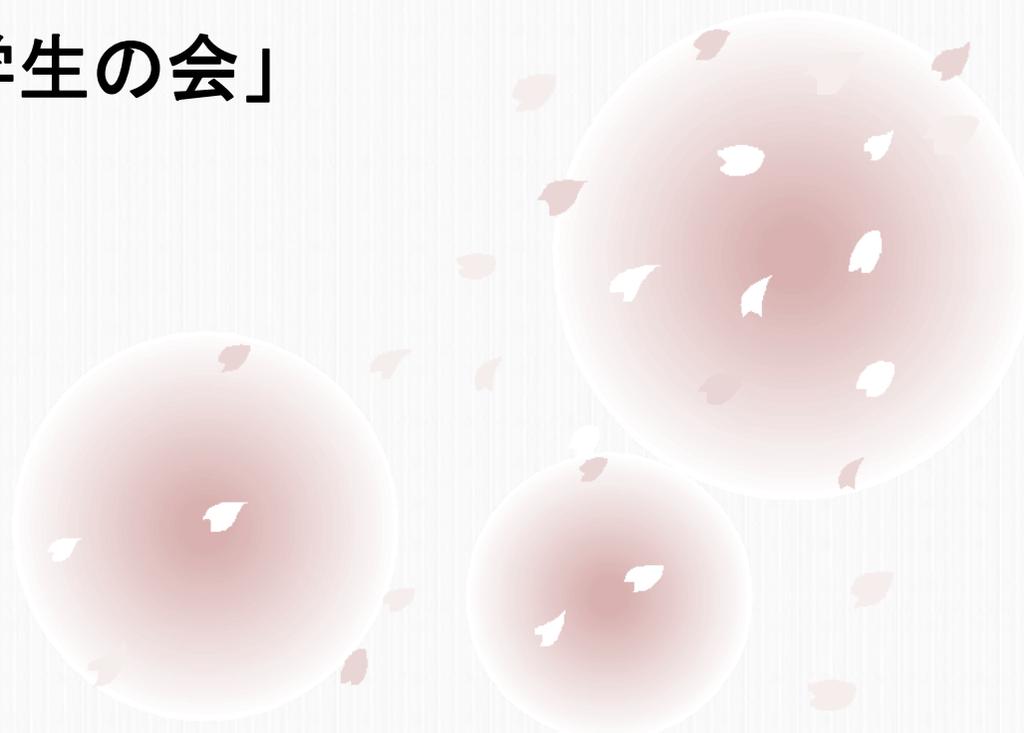


# どんな医師が欲しいですか？ —高校生と医学生の実—

「医師のキャリアパスを考える医学生の会」

<http://students.umin.jp/>

東京大学医学部 竹内麻里子



# 目標とする医師像

## 各大学HPより抜粋

- 自治医科大学  
ヒューマニズムに徹した/**過疎地域の医療**に進んで挺身する気概を持った医師
- 岐阜大学医学部  
医学の発展や**地域医療**などに寄与する...人間性豊かで倫理観に富む良き医師
- 宮崎大学医学部  
**宮崎の地域医療に貢献**でき、国際的にも活躍できる優れた医師
- 千葉大学医学部  
人類の健康と福祉に貢献すると共に次世代を担う有能な医療人・研究者
- 東京大学医学部  
生命科学・医学・医療の分野の発展に寄与し、国際的指導者になる人材
- 日本医科大学  
愛と研究心を有する質の高い医師と医学者

# でも、現実には...

おばあちゃんがいる岐阜で働きたい。でも、この点数だと厳しいですね。  
(高校生・岐阜大学医学部志望・東京出身)

絶対に東京に戻りたい。早く、研修先の病院をどうするか考えないと...。  
(医学生・宮崎大学医学部・東京出身)

成績は良くないけど、医学部に行きたい。行けるなら場所は選ばないつもり。  
でも、駅からバスで30分、かあ。  
(高校生・医学部志望・東京出身)

医学部入試は学力をはかるもの  
現実には、目的なんて関係ない

# そこで、「地域枠」

地域医療への貢献を目指す、多くの医学部に設置  
(以下は一般的な地域枠の内容)

- その都道府県内の高校出身者が対象。
- 推薦入試であり、一般入試のような試験はない場合が多い。
- 奨学金の貸与がある場合、約9年間の地域医療への従事(うち5,6年は都道府県知事が指示した医療機関で勤務)で返還免除。

絶対に地域医療に貢献してくれる医師を育てるには、  
お金がかかる

奨学金は、  
学費・生活費など、  
6年間で合計  
1000～2000万円代

# ややもすると、現実は...

奨学金貸与のない  
地域枠

トップ

社会

現在位置: [asahi.com](#)

企画特集

【医のあした】

## 地域枠合格2人のみ 宮大医学部

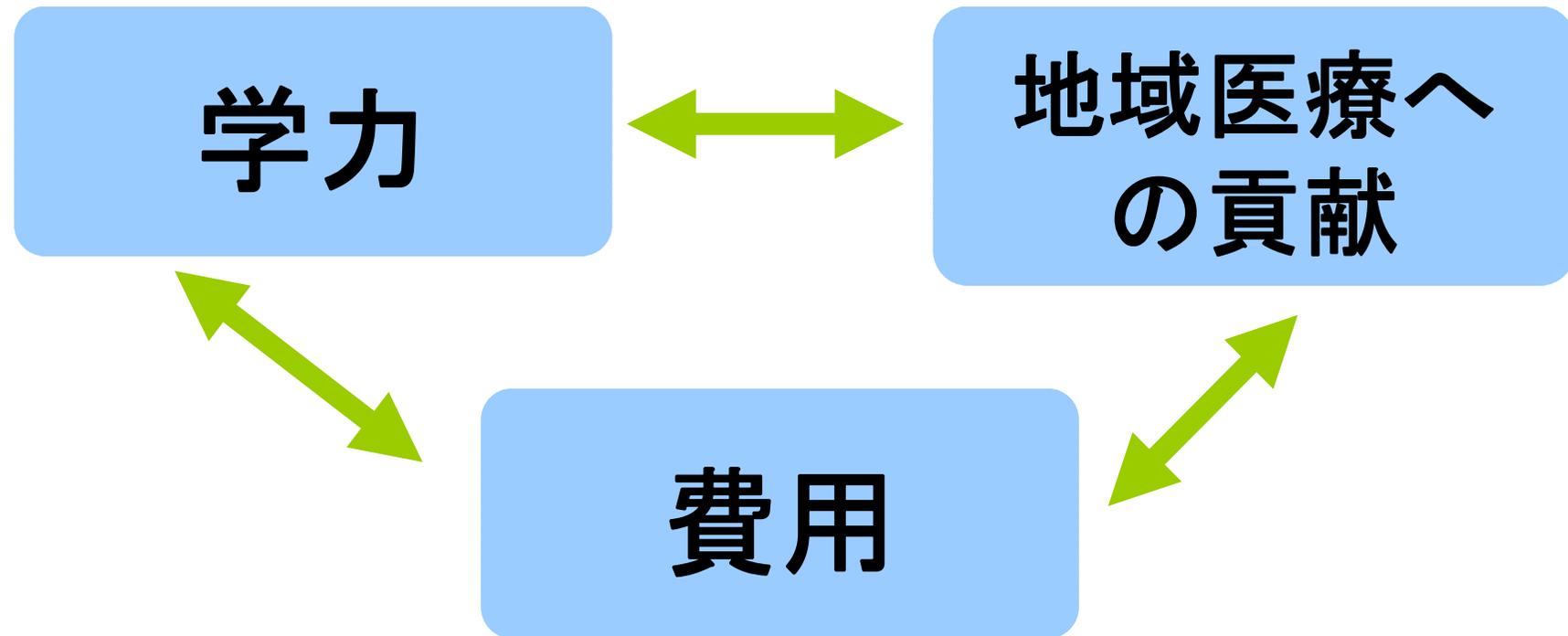
2010年03月02日

医師不足対策として地域医療の担い手を育てようと、県の「地域枠」で、来年度の募集枠10人に対し、実際の合格者は2人にとどまり、合格ラインに満たなかったためと説明した。

宮崎大や県によると、地域枠は、県内の医師の偏在や不足を解消し、地域医療の担い手を育てようとする。対象は、県内の高校生で、県が1次選考として調査書や小論文などで学力を踏まえて合否を決める。

できるだけ入学してもらって医師不足を解消したいのは山々だが、後の**国家試験**のことなどを考えると、一定の水準は維持しなければならない  
(副学長 談)

# どんな医師を増やしたい？



- 医学部を作れば、それだけで千葉の医療を支える医師が増えるわけではありません。
- 教育の中身はもちろん、待遇や選抜方法もきちんと議論していく必要があるのではないのでしょうか。